

# 食育の推進に関するアンケート調査結果

保健医療課

## 1 調査目的

県では、すべての県民の皆さんが心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと豊かに暮らすことができるよう「食育」の推進に取り組んでいます。そこで、食に関する県民の皆さんの意識や現状を把握し、第3次食育推進基本計画（計画期間：平成29～33年度）進捗状況の参考とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象：県政モニター575人（うちインターネットモニター331人）

調査方法：郵送及びインターネット

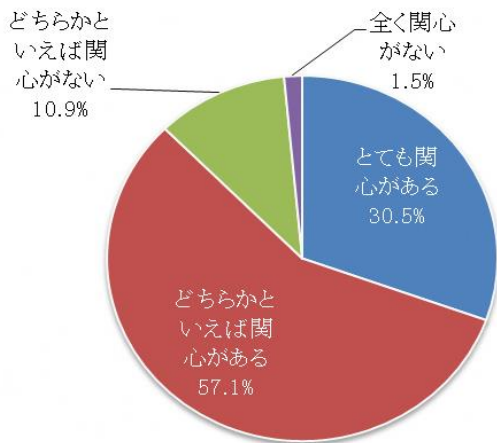
調査期間：平成30年8月6日～8月20日

回収結果：466人（回収率81.0%）

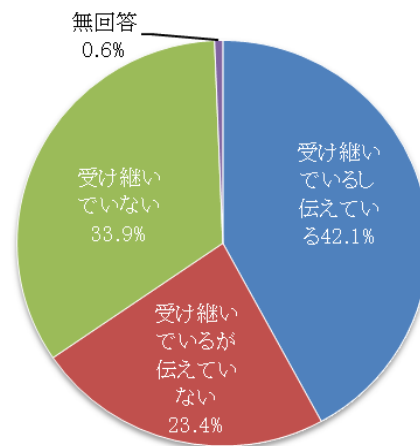
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

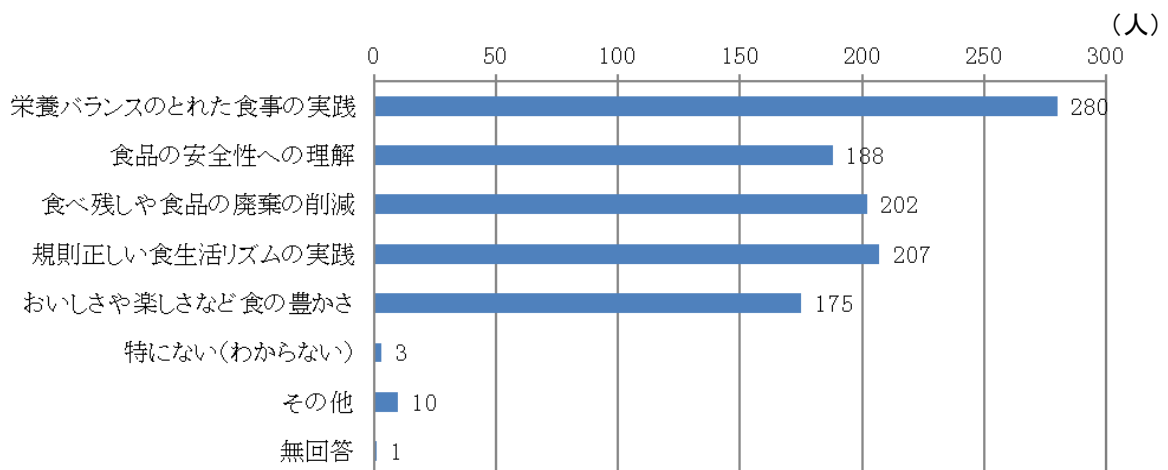
### ○食育への関心



### ○地域や家庭に伝わる料理や味、食べ方等の伝承



### ○今後の食生活で力を入れていきたいこと



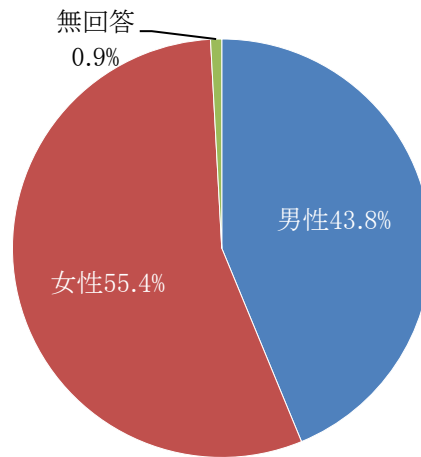
### ○野菜の摂取量について

- ・ 普段の食事で、健康のために1日に食べることが望ましい野菜の量が足りていると思っている人は45.3%、足りていないと思っている人は51.5%で、2人に1人は、野菜の摂取量が不足していると感じている。

#### 4 回答者属性

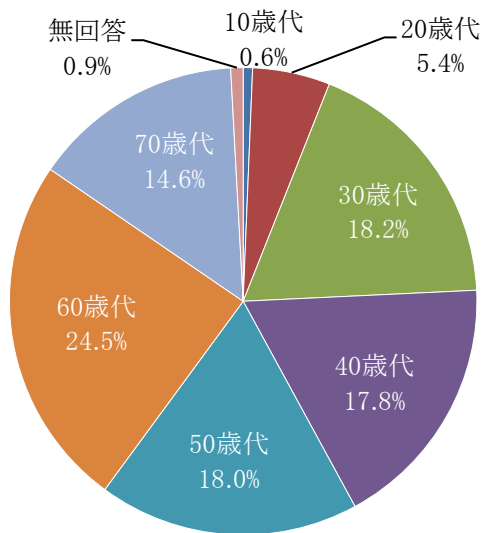
##### (1) 性別

	人数	割合
男性	204	43.8%
女性	258	55.4%
無回答	4	0.9%
計	466	100.0%



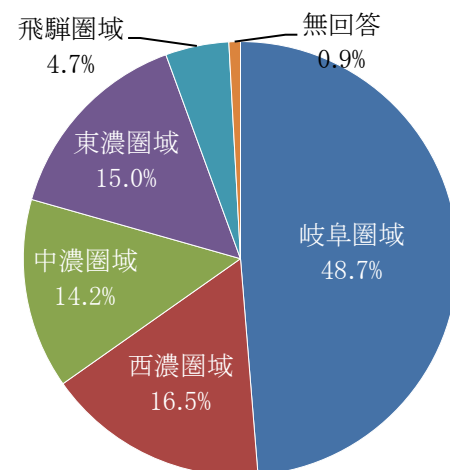
##### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.6%
20歳代	25	5.4%
30歳代	85	18.2%
40歳代	83	17.8%
50歳代	84	18.0%
60歳代	114	24.5%
70歳以上	68	14.6%
無回答	4	0.9%
計	466	100.0%



##### (3) 居住圏域別

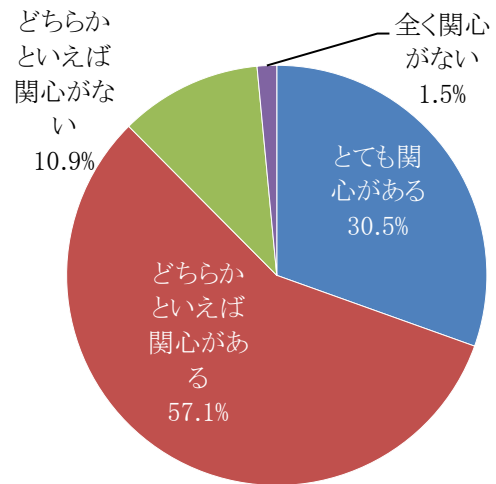
	人数	割合
岐阜圏域	227	48.7%
西濃圏域	77	16.5%
中濃圏域	66	14.2%
東濃圏域	70	15.0%
飛騨圏域	22	4.7%
無回答	4	0.9%
計	466	100.0%



## 5 調査結果

問1 あなたは、「食育」に関心がありますか。

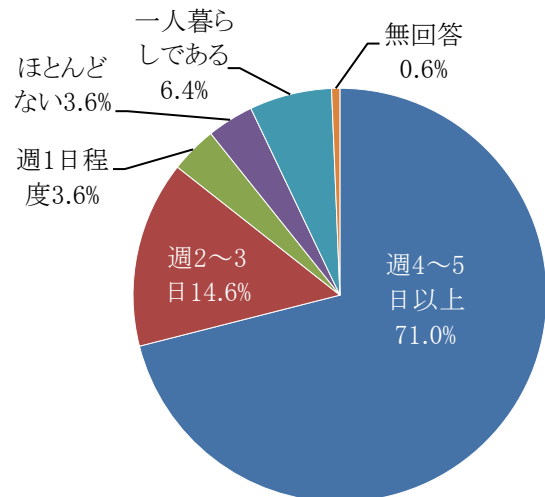
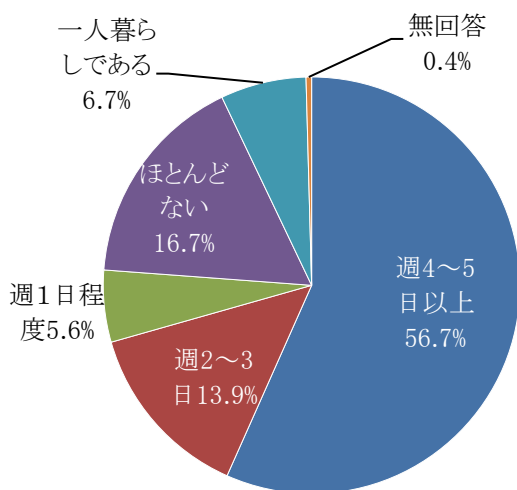
	人数	割合
とても関心がある	142	30.5%
どちらかといえば関心がある	266	57.1%
どちらかといえば関心がない	51	10.9%
全く関心がない	7	1.5%
計	466	100.0%



問2 あなたは、どのくらいの頻度で朝食と夕食を家族と一緒に食べますか。

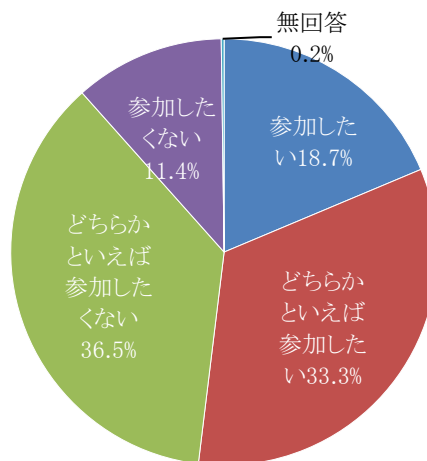
(朝食)	人数	割合
週4～5日以上	264	56.7%
週2～3日	65	13.9%
週1日程度	26	5.6%
ほとんどない	78	16.7%
一人暮らしである	31	6.7%
無回答	2	0.4%
計	466	100.0%

(夕食)	人数	割合
週4～5日以上	331	71.0%
週2～3日	68	14.6%
週1日程度	17	3.6%
ほとんどない	17	3.6%
一人暮らしである	30	6.4%
無回答	3	0.6%
計	466	100.0%



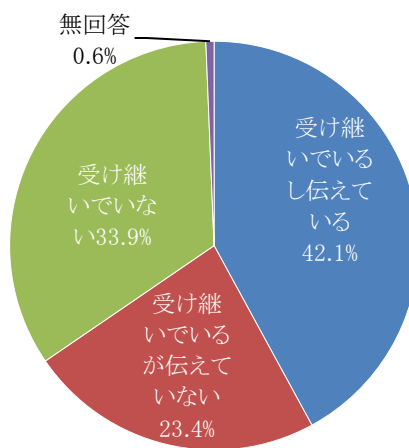
問3 近年、ひとり親世帯や高齢者の一人暮らしなど、家族のあり方が多様化し、家族と一緒に食事をすることが難しい場合があります。あなたは、地域の人や職場の人など、家族以外の人と一緒に食事をする機会があれば、参加したいと思いますか。

	人数	割合
参加したい	87	18.7%
どちらかといえば参加したい	155	33.3%
どちらかといえば参加したくない	170	36.5%
参加したくない	53	11.4%
無回答	1	0.2%
計	466	100.0%



問4 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもや孫を含む)に伝えていきますか。

	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	196	42.1%
受け継いでいるが、伝えていない	109	23.4%
受け継いでいない	158	33.9%
無回答	3	0.6%
計	466	100.0%



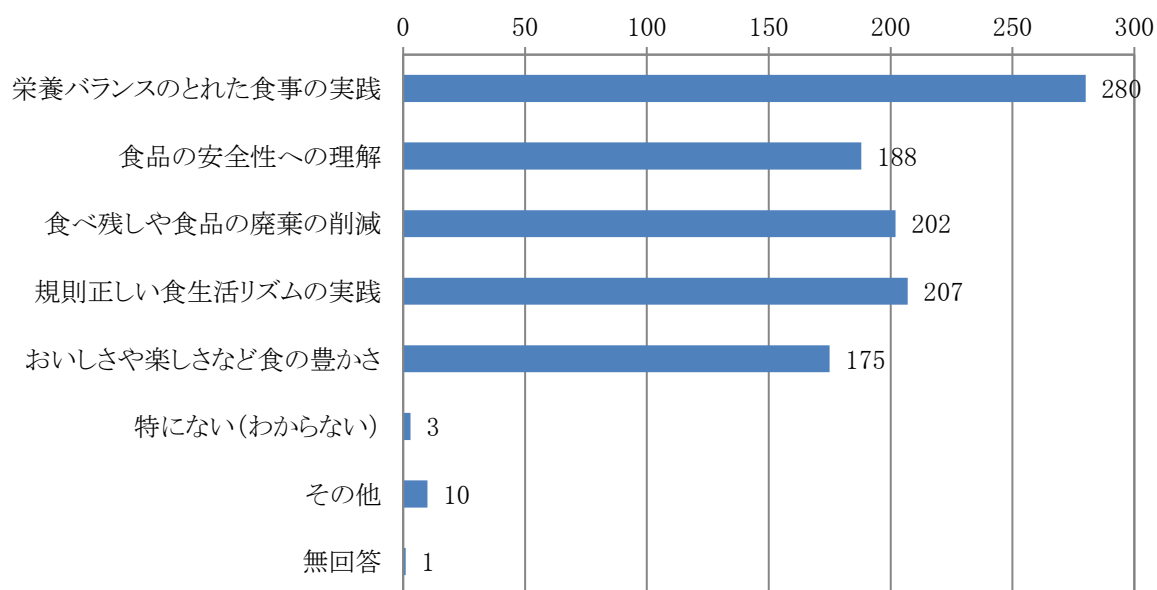
問5 あなたは、今後の食生活で、特にどのような面に力を入れたいと思いますか。  
 (複数回答) 回答者 464人

	人数	割合
栄養バランスのとれた食事の実践	280	60.3%
食品の安全性への理解	188	40.5%
食べ残しや食品の廃棄の削減	202	43.5%
規則正しい食生活リズムの実践	207	44.6%
おいしさや楽しさなど食の豊かさ	175	37.7%
特にない(わからない)	3	0.6%
その他	10	2.2%
無回答	1	0.2%
計	1066	-

「その他」のうち主なもの

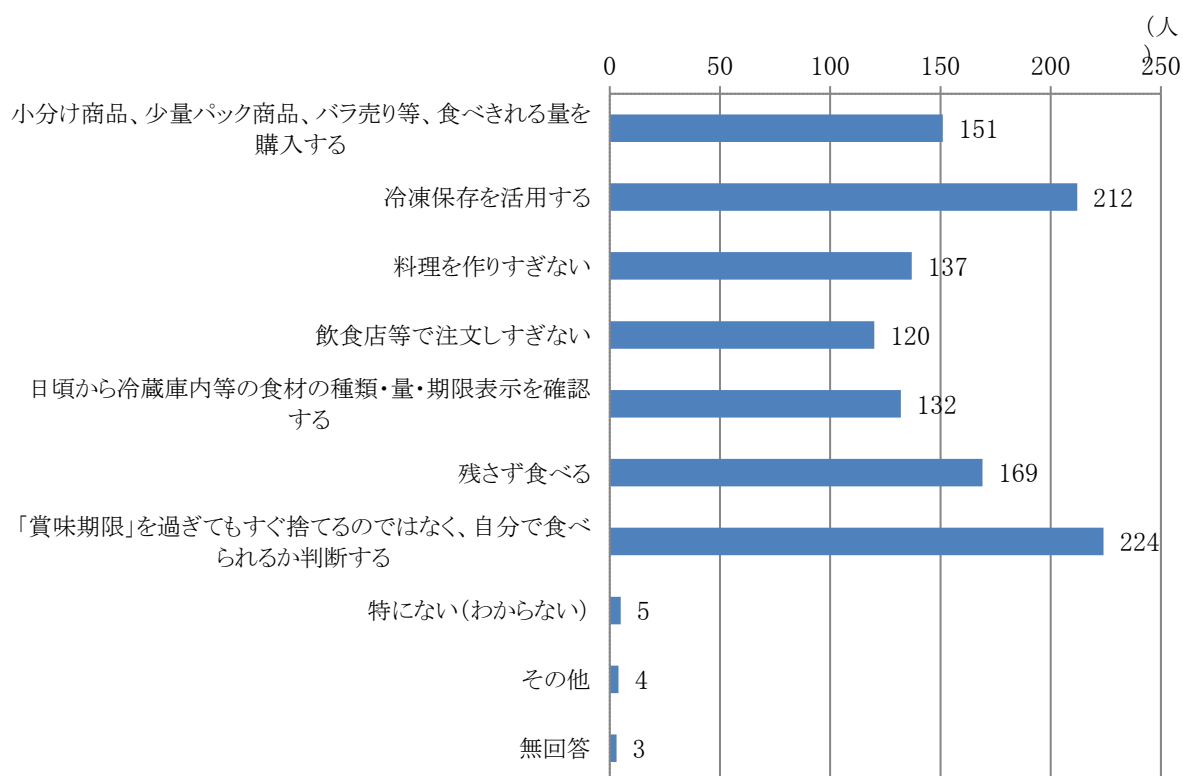
- ・健康第一の食生活
- ・味覚の形成と味付け
- ・食事の作法、箸の持ち方

(人)



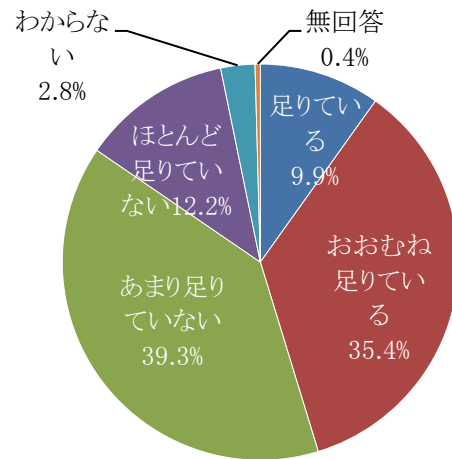
問6 あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。  
 (複数回答) 回答者466人

	人数	割合
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する	151	32.4%
冷凍保存を活用する	212	45.5%
料理を作りすぎない	137	29.4%
飲食店等で注文しすぎない	120	25.8%
日頃から冷蔵庫内等の食材の種類・量・期限表示を確認する	132	28.3%
残さず食べる	169	36.3%
「賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	224	48.1%
特にない(わからない)	5	1.1%
その他	4	0.9%
無回答	3	0.6%
計	1157	-



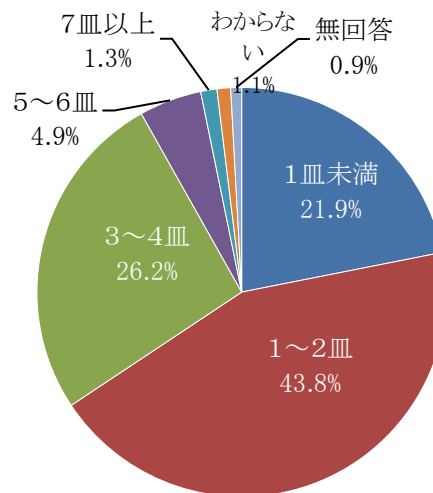
問7 あなたは、普段の食事で、健康のために1日に食べることが望ましい野菜の量が足りていると思いますか。

	人数	割合
足りている	46	9.9%
おおむね足りている	165	35.4%
あまり足りていない	183	39.3%
ほとんど足りていない	57	12.2%
わからない	13	2.8%
無回答	2	0.4%
計	466	100.0%



問8 あなたが、普段1日に食べる野菜の量はどれくらいですか。  
※1皿は、小鉢1皿分(約70g)と考えてください。

	人数	割合
1皿未満	102	21.9%
1～2皿	204	43.8%
3～4皿	122	26.2%
5～6皿	23	4.9%
7皿以上	6	1.3%
わからない	5	1.1%
無回答	4	0.9%
計	466	100.0%



問9 その他、食生活に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。  
(主な意見)

○子どもへの食育の推進

- ・ これからの子どもたちには食事の大切さをもっと知ってほしいです。ただ、その親への教育が足りないと思います。両方を同時に教育しないと効果は出にくいと思います。何かそのようなイベントをたくさん企画できると良いのでは
- ・ こどものうちから、良い食生活をする。野菜をいっぱい食べるなど、母親の自覚が大切だと思います。食生活改善推進員の役割も必要だと思います。
- ・ こどものいる家庭でも、夕食は店で買い求めたおかずで済ませることが当たり前になってきた。親の手作りコロッケ等愛情いっぱいの物を食べることがどれだけ大切(親子関係、健康面等)なことかもっとアピールすることが必要だ。
- ・ おやつばかり食べている子どもがとて多いと感じます。離乳食や幼児食からきちんとした食育が家庭レベルでも実践できるよう、保健センターなどで講座を開いたり、参考になるような冊子の配布などがもっとあると良いかと思います。
- ・ 中学生、高校生など体型を気にしたりする世代へ食事の大切さを伝えてほしいです。

#### ○食育に関する情報の提供や講座の開催

- ・ミナモの食育通信が発行されていることを知りませんでした。今回のリンクで見ると、なかなかいいものでした。野菜350グラムではピンときませんでした。5皿分はとても分かりやすかったです。これからもこのように分かりやすさを前面に出してください。
- ・健康維持に役立つ情報を、ふんだんに教えてください。
- ・健康寿命を延ばすための食品レシピを紹介した冊子を提供してもらいたい。
- ・生活習慣病予防、加齢者に対する食事の料理レシピ本、冊子を各家庭に配布してほしい。

#### ○地産地消の推進と郷土料理の伝承

- ・地域の特産の栽培・作り方や地域の伝統的な料理(特に昔から伝わる郷土料理のレシピの将来への保存)を市町に義務づけ、後世に残していただきたい。
- ・県営のタニタ食堂みたいなものを作ってください。食生活の改善と共に岐阜産の農作物を使用することで地産地消にも繋がるのでは？
- ・地産地消を強力に推進すべき。
- ・地産地消の推進と地産地消からの郷土料理の作り方を、月1回位で、公共の施設で青空市の感じで開催する。
- ・地産地消の野菜などを安く提供する場を増やして下さい。
- ・親子参加できる岐阜県郷土、伝統料理教室やイベントがあるとよい。
- ・農家が安定して食材を生産できる環境の提供。
- ・地元特産の食べ物をマスコミと協力して売り出して欲しい

#### ○食品ロスについて

- ・食品ロスはとても大きな問題だと思います。賞味期限と消費期限で勘違いされている方もまだまだ沢山見えます。日本の食材はとても安心して食べられるので幸せです。これからも自分で出来る事、子供達に教えながら毎日働いてくれている家族に感謝の気持ちを忘れがちになりますがこのような場をもうけて頂いて色々考え又実行していきたいと思っています。
- ・形がふぞろいでも、おいしくいただけるという”価値観”をもてるように。訳あり食品でも良い、ロスせず提供いただきたい。
- ・岐阜県や住んでいる地域で、子供食堂や食事が満足に摂れない人向けの施設はあるのでしょうか。食品ロスを防ぐためにそういう機関で利用してもらえるようなルートができていないのなら、作るとよいと思います。最近、飲食店の入り口に食べきりを宣言したポスターが貼ってあったり、食べ切りタイムの推進を図るものが掲げられているのを目にします。とても良い取り組みであると思います。そういう活動が県民に浸透するともっとよいと思います。
- ・健康、食品ロスの低減等のために「小食」を推奨する

#### ○野菜摂取について

- ・野菜の値段が高くてなかなか購入しづらい。
- ・野菜料理の普及を深めてほしい。
- ・1日の野菜量を具体的に料理法も知りたい。

#### ○県の施策について

- ・食生活に関する県の施策を知らない。知らせる方法を考えて欲しい。
- ・県と市の施策が共有されているのかよくわからない。
- ・「食」は地域性・家庭性が強い事柄なので、行政としてどこまで踏み込むべきか、ということは難しい部分があると思う(質の良否や量の不足は健康維持の点からも行政のかかわる部分と思われるが…)。何かと事務が増える中、「公」として踏み込む範囲を明確化し、そこから先は民間に任せるのがよいと思う。
- ・地域で、もっと積極的に参加できる企画が浸透してほしいと思います。どんな食育の施策をしているのか、一般にはわかっていないように思います。
- ・県の施策を理解していないので、勉強したい。